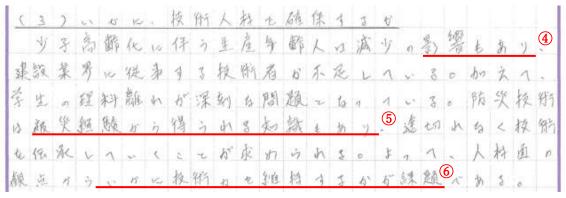
必須科目 I 防災・減災

1	a):	77	圇	舶勺	h	羰	规	No.	¥	n	极、	5											
(1)	V	15	V.		拠	趸	91-	ø	4	李	40	対	1/N	4	3	6					
	Mr.	年		找	狱	浝	自義	1c,	an	3)	響	v	ž.	7	叔	*	災	45	¥	激	甚	le,	٠
频	鬼	化	v	1	v	3		ŧ	た		奉	游	1	9	1	挑	鬼	3	6)	大	型	坎	震
Ø	R	生	W	3	1	и	4	东)	1	U	a	恕	٦	3	A)	4	W.	27	10	41	災	老
^	5)	纠	Th.	b"	求	yn	in	h	3		ŧ	7	1		技	竹	直	a	舰	7	N	n	想
Z	规	模	Ł	1-	19	3	4	老	Var	u	n	16	対	九	1	3	N	6"	課	独	1	th	8

- ① 「大型地震の発生が高まっており」→「大型地震の発生する可能性が高まっており」又は、「大型地震の発生が危惧されており」がより良いと思います。
- ② 分かりやすさの観点から、「災害への対応が課題」でどうでしょうか。



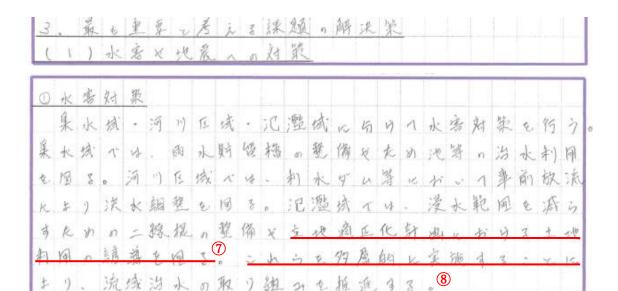
③ ②同様、「効率的な対策が課題」でどうでしょうか。



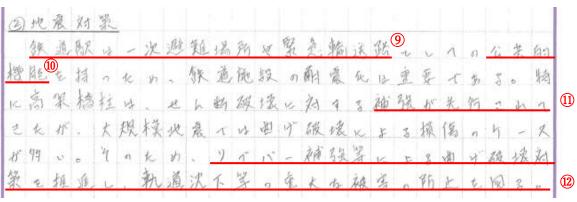
- ④ この場合の「も」は人口減少以外に要因があるようにみえますが書かれていないので、 「・・・もあり」→「・・・により」が良いと思います。
- ⑤ この部分は、少しわかりづらいです。得られる知識が何かを書いた方が良いと思います。
- ⑥ ②同様、「技術力の維持が課題」でどうでしょうか。



※指摘なし



- ⑦ 少し効果が見えにくいので、「立地適正化計画の策定により災害リスクの小さいエリア へ居住を移転させる。」とかいかがでしょうか。
- ⑧ これらを多角的に実施するのではなく、これらの例示が多角的だと考えます。よって、「このように、あらゆる関係者が一体となって多角的な対策を行う、流域治水対策を推進する。」でどうでしょうか。



- ⑨ 駅は、緊急輸送路にならないと思います。よって、「鉄道駅」→「鉄道施設」にしてはどうでしょうか。
- ⑩ 公共機能は、平常時から備わっているので、ここは「災害対応機能」とかどうでしょうか。

- ① 高架橋柱が主語なので、ここは「補強されてきたが」で良いと思います。
- ② リブバー補強は、曲げ破壊対策の例示として相応しいでしょうか(間違っていたら無視してください)。東京都の「耐震補強設計マニュアル」には、以下のとおり示されています。

本マ	ニュアルで使用してい	Nる用語は、関係基準類によるほか、以下によるものとする。
(1)	せん断補強	: 部材の破壊形式がせん断破壊先行型のものを対象にせん断耐力の向上を 目的とした補強
(2)	じん性補強	:部材の変形性能(じん性)の向上を目的とした補強
(3)	曲げ補強	:部材の曲げ耐力の向上を目的とした補強
(4)	せん断耐力比	:せん断耐力と部材が曲げ耐力に達するときのせん断力の比
(5)	設計応答塑性率	:想定地震に対し構造物に許容する最大塑性変位を降伏変位で除した値
(6)	じん性率	: 部材が交番載荷を受けたとき、耐力が降伏点の耐力よりも低下しない限 界の変位を降伏変位で除した値
(7)	せん断スパン	:部材の載荷点と支点を結ぶ距離
(8)	換算弾性応答加速度	: 弾塑性体の耐震性能に等価な弾性加速度
(9)	鋼板巻立て耐震補強コ	C法:既設 RC 柱等を鋼板で取り囲み、せん断およびじん性補強を行う耐震補 強工法
(10)	一面耐震補強工法	:施工上の制約から既設の RC 柱等を、柱の一面側からだけで行うせん断およびじん性補強工法
(11)	RB 耐震補強工法	: 既設 RC 柱等に補強鋼材を柱外周に配置し、せん断およびじん性補強を行う工法

また、橋脚補強(リブバー補強)を行って、沈下防止対策になるのでしょうか。

1	2)	I	c	1	校	野有	10	F	8	han	果	如	15	n.	粮							
0	予	Pħ	到	1	5	1	9	K	ν	7	x	9	2	ø7	拖	业							
	建	殼	4发	So	年	以	r	h	绝	過	뒥	S	£	朽	化	1	7	n	5	14	道	站	橋
ŧ	V)	1	8	73	Fi	K	上	30	o	4	J)	te	gh		I	L	1	採	狩	٤	海	坤	V
ĸ	執	拏	69	6	\$	枝	E	揃	進	k	,	旗	4	64	0	垄	K	13	槪	ME	損	失	ŧ
7	韩	9	3	0	R	住	胸	150	v)		10	ボ	-)	1	K	ţ	3	KL.	财	智	K	x	雪
0	鱼	徐	取	将	E	约			A	I	2	7	')	_	=	3-	7	W.	土	7	换	傷	13
伢	0	自	如	判	龙	Te.	75	j	0	*	k		3	,	h	1	1	7	ih	10	点	梹	58
旅	re	才	_	10	v	7	,	27	化	す	8	-	Z	٦."		X	10	矛	沙)	4	池	0	367-
廣	12	X	技	科书	磐	9%	0	(A	追	E	19	8	0										

③ 「ロボットによる」→「ロボットで」



- ④ 「学習」→「疑似体験」
- ⑤ 災害への意識醸成を図ったうえで、行うべき解決策を書いた方がより良いと思います。 よって、「地区防災計画やマイタイムライン等への反映、見直しを促す。」とかどうでしょうか。



- ⑥ ソフト対策としてあげられているものが、BCP しかないので、「BCP の策定」で良いのではないでしょうか。
- ① ここでいう物資とは、建設資材のことですかね、それとも救援・救助に必要な物資ですかね。つまり、ここで言いたいことは、インフラの復旧に係るサプライチェーンの話をしたいのか、救援物資の円滑な受け入れ体制の話をしたいのか判然としません。
- 18 ここが良く分かりません。



⑨ アカウンタビリティーが向上しても、それは防災減災の範疇を脱しておらず、波及効果と言えないです。つまり、防災減災以外の効果を述べないといけないと思います。



- ② 対策内容が抽象的すぎます。マイタイムライン見直しの必要性を周知するなど具体例を述べましょう。
- ② これも抽象的ですね。適宜見直しができる仕組みを具体的に書きましょう。



※ 指摘なし